

令和5年度

運営に関する計画・自己評価（最終評価）



令和6年3月

大阪市立塩草立葉小学校

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は、学校教育目標「共に学び、共に生きる子どもを育てる」～自分も人も大切にする～のもと、人権尊重を基盤とした教育活動を推進している。

統合から10年目。児童数は、統合時の241名から510名余りに急増している。中規模校になるにともない、さまざまな業務の見直しを進めしていく。

また、増加している渡日児童や特別支援学級在籍児童への支援、多様性教育推進などを通じて、すべての子どもが健やかに成長するよう、全教育活動を通して取り組んでいる。

中期目標（令和4年度から令和7年度までの4年間で達成をめざす成果目標）**【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】**

○大阪市小学校学力経年調査(3~6年、以下 経年調査)における「いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を75%以上にする。 →R4は74.8%。R5は73.3%

○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。

→参考:年間30日以上欠席児童:R4は7.9%。R5は6.9%。

○年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

→R4、R5とも改善した児童がみられる。

※前年度不登校であった児童のうち不登校の状態が解消された、または不登校状態であつても次の1~3に該当しているなど、総合的な判断により不登校の状態が改善されたとする人数を把握。

※改善とは、次の状態の場合をいう。(複数に該当する場合、最も顕著な項目を選択する)

1 出席日数の増

(学校内外でICT等を活用した学習活動をすることによる出席認定含む)

2 ICTの活用による、本人・保護者と学校がつながった回数が増えた。

3 養護教諭、スクールカウンセラー、教育支援センターなど学校内外の専門的な指導・相談につながるようになった。または、継続してつながるようになった。

【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

○大阪市小学校学力経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を37%以上にする。 →R4は36.1%。R5は34.2%

○大阪市小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。

(令和4年度の対全国比→令和5年度の対全国比)

国語 現6年 0.96→0.90 現5年 0.95→0.96 現4年 0.88→0.89 現3年4年度なし→0.92

算数 現6年 0.98→0.97 現5年 0.98→0.95 現4年 1.00→0.92 現3年4年度なし→0.93

○大阪市小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。 →R4は82.4%。R5は79.5%。

- 大阪市小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を73%以上にする。→R4は72.3%。R5は76.1%。
- 大阪市小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を65%以上にする。
→R4は64.5%。R5は67.7%。

【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】

- 学習者用端末を活用した学習を週1回以上実施する。
→R4、R5とも、各学級で週1回以上実施できた。

- 教員ひとり当たりの月別の時間外勤務時間平均を大阪市平均より減少させる。
→R4、R5とも、達成した

	R5. 4月～R6. 1月(1か月あたり平均時間)	前年度の平均時間
本校	21時間37分	23時間32分
大阪市	25時間24分	

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】

- 大阪市小学校学力経年調査（3～6年、以下 経年調査）における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を75%以上にする。
- 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を37%以上にする。
- 経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。
- 経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を83%以上にする。
- 経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を73%以上にする。
- 経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を65%以上にする。

【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】

- 全学級で、学習者用端末を活用した学習を週1回以上実施する。
- 教員ひとり当たりの月別の時間外勤務時間平均を大阪市平均より減少させる。

3 本年度の自己評価結果の総括

4月の全国学力・学習状況調査（6年）や6月の全国体力・運動能力、運動習慣等調（5年）、12月の大坂市小学校学力経年調査（3年～6年）、児童アンケート、保護者アンケートなどから、学力、体力とも一定の成果をあげつつ、さらなる向上が必要である。

今後も、家庭や地域の協力をえながら、基礎学力の定着や健康、体力の増進を図っていく。
また、人権教育を根幹に据えて、増加する外国人児童への支援、特別支援教育、多様性教育を推進していく。

令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

大阪市立塩草立葉小学校

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>全市共通目標（小学校）</p> <p>○大阪市小学校学力経年調査（3～6年、以下 経年調査）における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を<u>70%以上</u>にする。 →R 4は、74.8%</p> <p>○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。</p> <p>○年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。</p> <p>※前年度不登校であった児童のうち不登校の状態が解消された、または不登校状態であっても次の1～3に該当しているなど、総合的な判断により不登校の状態が改善されたとする人数を把握。</p> <p>※改善とは、次の状態の場合をいう。（複数該当の場合、最も顕著な項目を選択する）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 出席日数の増 (学校内外でICT等を活用した学習活動をすることによる出席認定含む) 2 ICTの活用による、本人・保護者と学校がつながった回数が増えた。 3 養護教諭、スクールカウンセラー、教育支援センターなど学校内外の専門的な指導・相談につながるようになった。または、継続してつながるようになった 	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 ○いじめの未然防止と早期発見、早期対応をすすめる。	
指標 ・5月「いじめ（いのち）について考える日」に、全学級でいじめ防止に取り組む。 ・いじめ事象を共有し、解決に向けて組織的に取り組む。 ・学期に1回以上、全学級でいじめについて実態調査を行い、早期発見に努める。	B
取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 ○不登校傾向のある児童の早期発見、早期対応をすすめる。	
指標 ・不登校事象を共有し、解決に向けて組織的に取り組む。 ・区役所（子育て支援）やこども相談センター、民生委員・児童委員、SC、SSWなど関係機関との連携をすすめる。	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>取組内容①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指標に沿って計画的に取り組むことができた。 ・いじめについて考える日だけでなく、日頃から朝会等でいじめについて考える時間を作った。 ・いじめアンケートで「ある」と記入している児童には詳しく内容を聞き取り相手と話し合いを行った。アンケートが声を上げづらい子たちへの救済の機会になっている。 ・学級活動の時間にいじめについて考える時間を設けるなど、いじめは絶対にいけないことだという思いを持たせ、困ったことはないか定期的に話し合う時間を設けている。 ・いじめはいけないと思う児童の割合がR4より1.5%下がっている原因は何か考えていかなければならない。「いじめ」について考える機会が増えたために「いじめ」としてきちんと認識できたから？ ・発見・対応はしているが、いじめをなくすためのアプローチが徹底できているか不透明。 ・計画通りできているが、児童の意識はあまり変わっていないので工夫する必要がある。
<p>取組内容②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指標に沿って組織的に取り組むことができた。 ・保護者と連携するなど不登校傾向のある児童に対して積極的なアプローチをしている。 ・オンライン学習や教育支援センターなど不登校状況にある子どもの居場所となる場を複数提案できるようになったが、改善に至っていない児童も多い。 ・どこまで、誰がどのようにアプローチするか、具体的な目標と継続できる計画が必要。
次年度への改善点
<p>取組内容①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き取り組む。 ・児童朝会や児童集会などを活用し、「いじめ」「仲間づくり」「自己変容」「多様性」などについて考える機会を作る。 ・「いじめ」の意識なく自分より弱い相手を見つけて自分のしんどさを吐き出す弱い児童が各学年にいる。その児童を救う手立ての工夫が必要である。 ・学年をまたぐ事象が数多く見られたので、生指や同担、管理職等と連絡を密にとり、より組織的に取り組んでいく。 ・いじめアンケートの時期を学期半ばにすることで、個別に話を聞く機会をじっくり持つことができるかもしれない。
<p>取組内容②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き取り組む。 ・教室に入りづらい児童を学年をこえて受け入れる場所・担当者が欲しい。 ・不登校状況にある子の選択肢が増えるように情報提供を続ける。 ・不登校児童の引継ぎ資料や支援計画（アセスメントシート）の作成。不登校児童対策会議（同担を中心として）を月1回もしくは学期に1回行う。不登校対応マニュアルを作成する。 ・他機関も利用しているがもう少し他に手があると嬉しい。学校だけでは難しい。 ・不登校が悪いと捉えられかねないので不登校の数値の改善を目標にあげるのはやめてほしい。 ・長期休みの児童への対応MTの場を作り、必ず全体への共有、部分での動きを全体へ返すことによりみんなへの学びとなる。それをリーダー研や学びカフェでテーマにして学びにかえる。

令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

大阪市立塩草立葉小学校

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況																		
【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】 全市共通目標（小学校） ※R 5の数値は、1～2ページを参照																			
<p>○経年調査における「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を<u>35%以上</u>にする。 →R 4は、36.1%</p> <p>○経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も<u>0.01ポイント</u>向上させる。</p> <p>R 4の対全国比</p> <table> <tr> <td>国語</td> <td>3年</td> <td>0.88</td> <td>4年</td> <td>0.95</td> <td>5年</td> <td>0.96</td> <td>6年</td> <td>0.91</td> </tr> <tr> <td>算数</td> <td>3年</td> <td>1.00</td> <td>4年</td> <td>0.98</td> <td>5年</td> <td>0.98</td> <td>6年</td> <td>1.00</td> </tr> </table> <p>○経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を<u>80%以上</u>にする。 →R 4は、82.4%</p> <p>○経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を<u>70%以上</u>にする。 →R 4は、72.3%</p> <p>○経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を<u>60%以上</u>にする。 →R 4は、64.5%</p>	国語	3年	0.88	4年	0.95	5年	0.96	6年	0.91	算数	3年	1.00	4年	0.98	5年	0.98	6年	1.00	B
国語	3年	0.88	4年	0.95	5年	0.96	6年	0.91											
算数	3年	1.00	4年	0.98	5年	0.98	6年	1.00											
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況																		
取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の増加】 ○自分の思いや考えを表現する子どもを育てる。	B																		
指標 • 全学級で、話し合い活動を <u>1日1回以上</u> 実施する。																			
取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の増加】 ○教員の指導力向上をすすめる。 ○浪速区学習意欲向上推進事業（漢字検定支援）を活用する。	B																		
指標 • 全教員が年 <u>1回以上</u> 公開授業を行う。 • 6年で漢字検定を行う。（目標：合格率65%以上）																			
取組内容③【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の増加】 ○外国語（英語）の学習に親しむ機会を設ける。	B																		
指標 • C-NET【大阪市外国語（英語）指導員】と連携した授業をすすめる。																			
取組内容④【基本的な方向5 健やかな体の育成】 ○運動に親しむ機会を設ける。																			
指標 • 体力向上に関する取り組みを行う。（シナプソロジーなど） • 外部講師による特別授業を行う。（「夢・授業」や出前授業など） • 区役所教育活動支援事業予算を活用する。（ライトドッジボール、ドッヂビー購入）	B																		

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

取組内容①

- ・学習の中で、話し合う活動を取り入れた。

取組内容②

- ・研究授業、公開授業、研修を計画的に行っている。
- ・各教科の研修に参加した。
- ・6年生の漢検結果は、合格率が75%で目標を達成した。

取組内容③

- ・C-NETと連携して授業を行った。
- ・週一回のモジュールで外国語に親しんだ。

取組内容④

- ・「夢授業」を活用して、スポーツに親しむことができた。
- ・体力向上のために、休み時間の過ごし方の工夫をし、体育の授業において、運動に意欲的に取り組めるようワークシートを活用した。
- ・区役所教育活動支援事業予算の活用により、(ライトドッジボール、ドッヂビー購入)児童が運動に親しむ機会が増えた。

次年度への改善点

取組内容①

- ・継続して取り組む。

取組内容②

- ・いろいろな研修の場を設け、公開授業を相互参観できる工夫を検討していく。
- ・漢検の学年を検討する。(3年)

取組内容③

- ・低学年にも、学期に1回程度授業ができるよう調整する。
- ・3~6年生の授業への入り込み体制を整える。

取組内容④

- ・いろいろな機関と連携して取り組みを行っていく。
- ・全学年で取り組むウォーミングアップなどを検討する。

令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

大阪市立塩草立葉小学校

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】 全市共通目標（小学校） ○学習者用端末を活用した学習を週1回以上実施する。 ○教員ひとり当たりの月別の時間外勤務時間平均を大阪市平均より減少させる。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）】 ○学習者用端末に親しむ機会を設ける。	B
指標 ・デジタル教材の活用をすすめる。	
取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ○教員の過重労働を抑制する。	
指標 ・業務内容の改善、見直しを進める。 ・ゆとりの日を週1回設ける。	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
取組内容① ・デジタルドリルをはじめ、各教科で色々と取り組むことができた。
取組内容② ・ゆとりの日が機能している⇒ゆとりの日はあるが、持ち帰るので労働時間としては変わらない。

次年度への改善点
取組内容① ・PCの使用頻度アップのために各学期でPCを使った学習単元のアンケートをとって事例収集をして全体に共有を行う。→役立つと思うので続ける。 ・児童用パソコンの使い方を丁寧に。 →ゆくゆく持ち帰りをするならば一人ずつ個人持ちのケースも必要かもしれない。 ・大型モニターの順次導入。 取組内容② ・業務改善のための分掌を創設する必要があるかもしれない。

2023（令和5）年度 人権教育の取り組み（予定）

「ともに学び、ともに生きる子どもを育てる」～自分も人も大切にする～

塩草立葉小学校 人権教育部

【1】人権教育推進体制の組織

- 人権教育部（校務分掌）
- 人権教育推進委員会（学校長、教頭、同和教育主担、教務主任、生活指導部長、外国人教育主担、特別支援教育主任、各学年）
 - ・人権教育教材集・資料、人権教育読本「にんげん」の実践、授業研究
 - ・人権・同和教育の推進
- 浪速人権・同和教育推進協議会（同推協）
 - ・学習部会（教育内容部会、歴史部会、保幼小中支援連携部会）
 - ・新転任同和問題研修会（年5回）

【2】人権教育の内容

- 集団育成に関する事項
 - ・学年・異学年間の学年での集団育成活動
 - ・たてわり活動→児童集会、つながりフェスタ、進級・卒業お祝い集会
 - ・保、幼、小、中との交流活動
 - 幼稚園・保育所との交流（昔遊び1年生、前年度はなし）
 - 難波中、栄小交流（6年生）なにわ子ども人権文化祭
 - ・地区子ども会（集団登校・下校）
 - ・フレンズ・カップ・オブ・ナニワ（R5年度より再開）
 - バレーボール、ドッジボール（3～6年生の希望者）
 - チーム編成から当日まで何度も放課後に練習する。

○部落問題学習に関する事項

- ・太鼓正の見学、「塩草立葉のリズム」練習 4年生（11～12月）

○特別支援教育に関する事項

- ・府立難波支援学校との交流 →地域連携 作品展見学
- ・障がい理解への取り組み（ゲストティーチャーを招いて）
 - 盲導犬学習 3年生、車いす体験 4年生、アイマスク体験 5年生など
- ・特別支援学級児童の学力保障
- ・特別支援学級以外の配慮を要する児童への支援

○外国人教育、国際理解、多文化共生に関する事項

- ・となりの国の学習（民族講師を招いての学習） 全学年
- ・多文化理解への取り組み
- ・国際クラブ（学期1回）外国につながりのある児童に声かけ
- ・中央ブロック子ども民族交流会（7月）
- ・中国語弁論大会（10月）
- ・渡日児童への日本語指導ならびに支援
 - （センター校通級、市教委から指導協力員の派遣、必要に応じて個別指導）

○平和教育に関する事項

- ・人権・平和学習強調月間 6月第1週～7月第1週 全学年
- ・人権・平和の集い 7月6日(水) 全学年

○性教育に関する事項

- ・性教育年間計画に基づいた学習実施

○学力保障の取り組みについて

- ・子どもの実態に応じた複数教員によるきめ細かい指導
- ・1～6年生の朝学習

○人権ポスター(平和 5年)

- ・浪速区で人権展開催の場合は、全学年

【3】人権研修・地域連携

○人権・同和教育の研究・研修

○各学年による人権教育実践報告会

○「子どもの様子」報告 毎月職員会議後

○特別支援教育全体会

○外国にルーツをもつ児童の実態把握(その都度内容更新)

○大阪市人権教育研究協議会(市人教)の活動参加

- ・市人教大会・分科会報告 6月23日(金)・24日(土)

→本校から毎年実践報告を発表(1事例)

→他校の取り組みに学ぶ

- ・市人教夏期研究会 7月31日(月)住吉小学校

- ・浪速区人権教育講演会 9月13日(水)区民センター

- ・浪速区人権教育公開授業 12月

- ・浪速区人権教育実践交流会 1月17日(水)木津中

○浪速人権・同和教育推進協議会(同推協)

- ・各専門部会の研修会、新転任同和問題研修会

○浪速読み書き教室のボランティア講師 毎週金曜日 午後7時～9時

○フレンズ・カップ・オブ・ナニワ R5より再開 11月5日(日)難波支援学校にて

○第54回部落解放・人権夏期講座:高野山 8月24日(木)25日(金)

○全国人権・同和教育研究大会

11月25日(土)26日(日) 大阪市・大阪府・京都府・兵庫県

○浪速地区人権・同和教育研究集会(隔年) R6年1月実施予定

○なにわ人権教育ネットワーク(人権ネット)の活動参加

- ・講演会「区民の夕べ」 8月

○4区(浪速・西・港・大正)合同人権展 12月

- ・2022年度は、港区で実施。2021年度は、浪速区で実施。

- ・児童の作品展示(ポスター・標語など)

※新型コロナウイルス感染症拡大状況により、オンライン開催や延期、縮小、中止になる場合があります。